

毒キノコに要注意

夏の気温が高く、その後の適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生すると考えられます。



毎年、毒キノコを原因とする食中毒が発生しています。

食用のキノコと確実に判断できないキノコは

絶対に

採らない！ 食べない！

売らない！ 人にあげない！

キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！

＜食用と間違えやすい毒キノコの例＞

クサウラベニタケ



【中毒症状】

食後 20 分～1 時間程度で嘔吐、下痢、腹痛など消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの中毒症状も現れる。

【間違えやすいキノコ】

ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ

ツキヨタケ



【中毒症状】

食後 30 分～1 時間程度で嘔吐、下痢、腹痛などの中毒症状を起こす。

【間違えやすいキノコ】

ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ

ニガクリタケ



【中毒症状】

食後 3 時間程度で強い腹痛、激しい嘔吐、下痢、悪寒などの中毒を起こす。重症の場合は、脱水症状、けいれんなどの症状が現れて死亡する可能性がある。

【間違えやすいキノコ】

ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ

ニセクロハツ



【中毒症状】

食後 30 分から数時間程度で嘔吐、下痢などの胃腸、消化器系の中毒症状を示す。その後 18-24 時間ほどで横紋筋溶解が原因と考えられる全身筋肉痛、呼吸困難を示し、死亡に至ることもある。

【間違えやすいキノコ】

クロハツ、クロハツモドキ(注)文献によってはクロハツにも毒成分が含まれているという報告があります。

東 員 町

三重県桑名保健所

過去10年間の毒キノコによる食中毒発生状況／全国（平成20年～29年）

キノコの種類	間違えやすい食用キノコの例 （「自然毒のリスクプロファイル」より）	事件数	患者数	死亡数
ツキヨタケ	ヒラタケ、ムキタケ、シイタケ	191	654	0
クサウラベニタケ	ウラベニホテイシメジ、ホンシメジ、ハタケシメジ	81	251	0
テングダケ	—	21	36	0
ドクササコ	ナラタケ、ホテイシメジ、アカハツ、チチタケ	15	25	0
イボテングタケ	—	12	17	0
カキシメジ	ニセアブラシメジ、チャナメツムタケ、シイタケ	9	21	0
イッポンシメジ	—	10	32	0
オオシロカラカサタケ	—	13	25	0
ニガクリタケ	ナメコ、クリタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ	3	3	0
オオワライタケ	—	4	7	0
ニセショウロ	—	2	4	0
ハイイロシメジ	—	1	1	0
ヒカゲシビレタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	2	3	0
タマゴダケモドキ	キタマゴダケ	2	2	0
ドクツルタケ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ	2	2	0
ニセクロハツ	クロハツ、クロハツモドキ	0	0	0
オオシビレタケ	—	1	3	0
カブラアセタケ	—	1	1	0
その他	—	26	58	0
不明	—	51	141	0
合計		447	1286	0

注) 食用といわれているキノコでも、調査研究により食用に適さないと判断されることもありますのでご注意ください。

○代表的な有害植物及び毒キノコの特徴については

厚労省HP「自然毒のリスクプロファイル」をご覧ください。

○毎年9月～10月には毒キノコによる食中毒が発生しています。

○「有害植物」にも、ご注意ください！

(参考)

厚生労働省ホームページ：

毒キノコによる食中毒に注意しましょう

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html)

三重県ホームページ：

毒きのこ・有毒植物にご注意ください

(<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUSEI/HP/shokuhineisei/35025030887.HTM>)